

東京純心大学における教育の三つのポリシー策定の方針

東京純心大学（以下、「本学」という）は、「建学の精神」及び「教育理念」を踏まえ、教育の質保証と向上を図るため、三つのポリシーである「卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」、「教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）」、及び「入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）」を一体的で整合性のあるものとして策定し、運用する。三つのポリシーの策定では、三者の関係をわかりやすく示し、本学に関心がある多様な人たちが十分理解できるような内容とする。また、本学の学士課程教育に関わる全ての教職員がどのような教育を行い、どのような人材を育成するのかを共通理解し、連携して取り組むため、「教育の三つのポリシー策定の方針」を次のとおり定める。

1. 策定の単位

学長を中心に全学的なポリシーの基本方針、策定単位等について検討したうえで、学部学科（学位教育プログラム）ごとに三つのポリシーを策定する。

2. 三つのポリシーの記述について

- 1) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー：DP）
 - ・ 本学の「建学の精神」、「教育理念」、学部学科の教育目的に基づき、卒業時に学生が身につけるべき資質・能力を具体的に示す。
 - ・ 学生が自身の学修成果を具体的に把握できるよう、学修の到達目標を示す。

- 2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー：CP）
 - ・ DPで明示した資質・能力を修得するために教育課程を体系的に構築し、科目構成、配当科目の内容・単位数、授業実施方法等の運営方針を示す。
 - ・ 授業においては、能動的学修を積極的に取り入れ、授業の工夫・改善等、教育の質の改善・向上を図る。

- 3) 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー：AP）
 - ・ 本学及び各学部・学科のDP、CPに基づく教育内容等を踏まえ、入学者に求める資質・能力を具体的に明示する。
 - ・ 高等学校の教育課程等を通じて、大学での修学に必要な基礎学力を有することを示す。
 - ・ 入学者選抜における評価等は、「学力の三要素（「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等の能力」、「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」）」と関連付け、多面的・総合的な評価の方法を示す。

3. 三つのポリシーの運用について

- 1) 三つのポリシーは、教育の質の向上を継続的に図る「内部質保証システム」の中心であることから、絶えず検証を行い、必要に応じて見直す。
- 2) 三つのポリシーの検証は、各学部学科で行い、大学全体の内部質保証に責任を負う大学運営協議会で審議し、妥当性を確保する。